

「責任を持つ」

吉沢 明子

5年前、人に頼まれて渋々1匹の子猫を買ったが、その行動全てが新鮮で面白く、世の中にこんな素晴らしい生き物がいたのかと思う程にはまってしまった。その後猫に関する本を読みあさり、アメリカのフィリップ・ゴンザレス著の「猫たちを救う犬」に出会った。保護シェルターで著者が譲り受けたジニーという犬は、捨てられた子猫や障害のある猫たちのSOSをいち早くキャッチする不思議な能力を持っている。ジニーに引かれて彼は友人らと共に外猫達の給餌、不妊・去勢手術、里親探し、学校等での啓発活動、傷付いた猫の保護などを熱心に行うようになり、猫の救済を通して地域に貢献した。やがてジニーは有名になり、アメリカや日本のTVで放映された。「日本でもこんな活動ができたらなあ」と思っていたら、ある日、動物病院で「またたび通信」が目に入り、なんと松本でも地域猫活動をやっていると書いてある。早速入会した。が、最初は寄付ぐらいしかできなかった。元来、怠け者な私は面倒な事や責任は持ちたくない方だ。なのに何故か次々と猫の方からやって来る。仕方なく猫に関わるうち「責任を持つ」ことと面倒でも逃げずに努力することについて考えるようになった。


去年の7月の帰宅途中、父娘が子猫を道端へ置き去りにする光景に遭遇した。父親はサッサと先を行き、小学生くらいの娘は懸命に付いて来る子猫を心配そうに振り返りながら歩いていた。声を掛けると、猫は二日ほど家の周りにおり、母親に飼ってはいけなと言われて捨てに来たという。新しい飼い主を捜すよう話し、うちで預かることにした。折角我が子に芽生えた命を慈しむ心を摘み取ってしまうなんて、この両親は何ともったいない事をするのだろう。他に策があるものを、努力もせずに面倒を避けようとしながら、優しい子に育て欲しいと思っているならば虫が良過ぎる。結局、この猫は我が家の一員となった。一方、別の家族では、「犬猫を簡単に捨てる人が多い中で一、二匹引き取るだけでは大した力になれないが協力したい」と2匹の兄弟猫を買ってくれた。ご主人は猫アレルギーの薬を飲みながらも可愛がってくれている。このような両親に育てられた子は、きっと立派な人になるに違いない。

人間は一人で生きている訳ではない。例えば、ゴミの分別は面倒だが、環境を守るために一人一人がきちっと行う。人間は地球上の一員に過ぎないのに、自分の生活を優先して他の生物には多大な迷惑を掛けている。野良猫だって犠牲者だ。捨てる人も保健所に持ち込む人も、命に対する責任を放棄し他人に押し付けている。また、無関心でいることや責任が持てないから手を出さないのも無責任だと思う。自分は何もしないで、人に文句ばかり言うのはもったいけない。何もしなければ責任が無いと思っているのだろうが、何の問題解決にもならない。些事でもいいから自分に出来る事を探す方がよほど世の中のためになる。見て見ぬ振りができずにこっそり餌やりをする人も増え過ぎる前に避妊をし、食べ残しや糞をきれいに片付け、猫が嫌われ者にならないようにして欲しい。常に自分に関わる事には「責任を持つ」ことが大切だ。

去年から私も外猫の世話をしているが、責任は一人で負わなくても皆で分け合えば軽くなる。餌場の工夫、害虫駆除、冬の寒さ対策など、仲間と知恵を出し合っている。ある時、ねこの会の山田さんに、毎日公園に通うのは大変ではないかと聞いたら、「猫は1日1回のご飯を楽しみに生きている。だから家猫より外猫にはいい物をあげる。それに私を待っている。だから毎日行くんだよ。大変だなんて思わず、トイレにでも行くようなつもりでやりな」と言われ反省した。確かに私が行くと尻尾をピンと立て、ニャンニャン言いながら走って来てコロコロ転がって歓迎してくれる。こちらもうれしくなる。猫は面白い。喜ぶ。すねる。笑う。傷つく。しゃべる。わが家の最初の猫は「ゴハン」「ギューニュー」とはっきり言えたし、保護した猫は「ハイッ」と返事をした。「ココアケテヨ」としゃべった猫もいた。別の子猫は「ゴハンゴハン」としか鳴かなくなってしまう、親戚に貰われてから治った。その家の人が「ゴハン」ではなく「ウンマ」と言っていたからだ。猫に関わると、いろいろ勉強にもなるし、良い出会いもあり、悲しい事もあったが楽しい事の方が多い。家で動物を飼えない人も地域猫なら世話できる。

不幸な猫を減らすため、一緒に頑張ってみませんか。

豆知識

猫のしっぽはアンテナだよ！
ピンと立てて近寄ってきたときはとてもご機嫌で甘えたいとき。
赤ちゃん猫がお母さん猫に何かお世話をしてもらいたくておねだりしているときと同じだよ！だから
飼い主はお母さん猫と同じ
だと思っているんだ♡♡ 

平成16年度「ねこの会」会計報告 (単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	¥ 79,228	事務費	¥ 52,457
募金箱より	¥ 187,441	備品費	¥ 111,129
寄付金・利子	¥ 234,004	運搬交通費	¥ 87,584
絵はがき・写真集	¥ 14,280	接待交際費	¥ 38,757
小計	¥ 514,953	活動費	¥ 137,036
		雑費	¥ 49,655
		小計	¥ 476,618

(収入) 514,953 - (支出) 476,618 = (残金) 38,335

※上記金額の他に中島塗装店様より毎月5000円相当の餌の寄付をいただいております。